第３２回 全国建設研究・交流集会

いのちと安全をまもる地域建設産業の持続可能な発展に向けて

～第三次・担い手３法を活用し、自らの力で賃金・単価の引き上げを～

本集会では、建設産業の現状を踏まえて、賃金・単価の引き上げや労働条件の改善、自然災害からの復旧・復興の課題、現場の労働安全衛生問題、公正な取引環境整備に向けた課題など、建設業をめぐる諸課題について考えます。

1日目は、全体会として記念講演とシンポジウム、2日目は4つの分科会からお選びいただきます。

撮影:初沢亜利

記念講演「今、憲法を考える」

猿田 佐世さん

（弁護士・新外交イニシアチブ代表）

改憲の議論が進められていますが、平和でこそ成り立つ建設産業の従事者として、憲法について考えます。

日時：2026年12月6日（日）～7日（月）

6日：13時～16時30分　7日：9時～12時（いずれも予定）

場所：アートホテル成田（千葉県成田市小菅700）

申込方法：別紙参加申込書にご記入の上、所属団体か第32回全国建設研究・交流集会事務局へお申し込みください。

申込期限：11月24日（火）※締切厳守

参加費など：別紙参加申込書をご確認ください。

<主催>

生活関連公共事業推進連絡会議、NPO法人建設政策研究所、建設関係労働組合首都圏共闘会議、全国商工団体連合会、日本自治体労働組合総連合

<協賛>

新建築家技術者集団、国民の住まいを守る全国連絡会、災害被災者支援と災害対策改善を求める全国連絡会、東日本大震災・原発事故被害の救援・復興をめざす福島県共同センター、東日本大震災復旧・復興支援みやぎ県民センター、東日本大震災津波救援・復興岩手県民会議 、一般社団法人全国木造建設事業協会/千葉県協会

<後援>

全国建設労働組合総連合

第32回　全国建設研究・交流集会

1日目　12月6日（日）

13:00 ～ 16:30 （予定）	全体会	開 会 主催者挨拶	笛田　保之さん（第32回全国建設研究・交流集会　実行委員長）
		記念講演	猿田佐世さん（弁護士・新外交イニシアチブ代表） 「今、憲法を考える」
		シンポジウム	「第三次・担い手3法施行から1年 ～自らの力で賃金・単価の引き上げを～」 第三次・担い手3法の主要な目的の一つは、担い手確保に向けて、労務費が各段階で確保され、現場従事者に賃金が行き渡ることにある。「労務費に関する基準」やCCUSレベル別年収など、賃金・労働条件の改善に向けた具体的な施策が打ち出されたが、見積書の作成や要求・請求ができているか、賃金が引き上がっているかなどの課題について、現場からの実態報告を踏まえて議論する。
18:00		夕食交流会	

2日目　12月7日（月）

		第1分科会 「自然災害」	第2分科会 「賃金・単価の引き上げ」
9:00 ～ 12:00 （予定）	分科会	【助言者】笛田保之さん （生活関連公共事業推進連絡会議事務局長）	【助言者】恵羅　さとみさん（法政大学准教授）
		復旧・復興過程にある熊本地方を震度7の地震が再び襲った。また、全国各地で豪雨災害が相次ぎ、自然災害への備えと減災・防災対策や復旧・復興のあり方が全国的な課題となっている。本分科会では、自然災害等の実態を踏まえて、減災・防災や復旧・復興のあり方、地域建設事業者、建設従業者の役割などについて考える。	1日目のシンポジウムでの議論を踏まえて、賃金・単価や休日など、労働条件の改善が進んでいるのか、標準労務費や標準見積書の使用状況、要求や請求の取り組みが進められているのか、などの現場の実態や課題を報告するとともに、今後求められる取り組みについて議論する。
		第3分科会 「現場の労働安全衛生対策」	第4分科会 「資材価格高騰と価格転嫁」
		【助言者】酒井　崇さん（全労働省労働組合）	【助言者】松丸　和夫さん（中央大学名誉教授）
		2025年の建設業の労働災害は、死傷災害は全産業の9.9%だが、死亡災害は全産業の30.6%を占めている。建設業では、「墜落・転落」や「崩壊・倒壊」などが多く、熱中症の死傷者数も製造業と並んで多い。現場での安全対策の現状や課題を学ぶと共に、安心安全の現場づくりを考える。	中東情勢の緊迫化によって、石油由来の様々な製品の供給が停滞、あるいは停止した。資材は不足するとともに、価格も高騰が続いている。本分科会では、建設資材の仕入れ等の実態や課題、価格転嫁の現況などについて報告し、問題解決に向けた討論を行う。

＜お問合せ・お申込み先＞

第32回全国建設研究・交流集会事務局(NPO法人建設政策研究所内)

所在地：〒169－0074　東京都新宿区北新宿1－8―16－601

TEL：03－5332－7820　FAX：03－5332－7821　メール：JDS04066@nifty.ne.jp